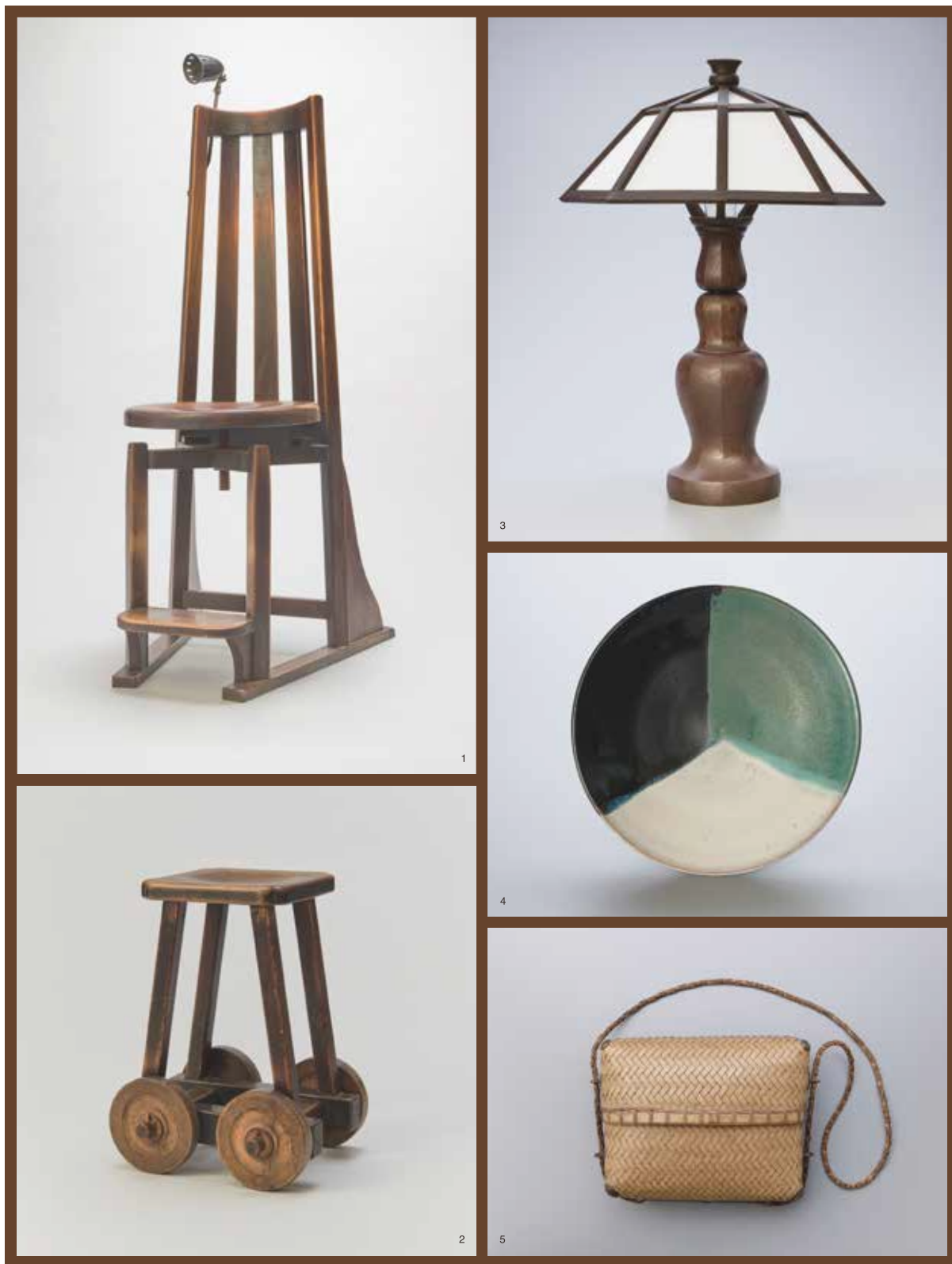


吉田璋也のデザイン

— 新作民藝運動がめざした未来

手仕事を、いまの暮らしに。

2026
3/14 SAT
6/21 SUN



1 患者用診察椅子 1952年 個人蔵 2 医師用車輪付椅子 1952年 個人蔵 3 伸縮式中折傘電気スタンド 1932年 鳥取民藝美術館蔵 4 緑釉白釉黒軸三方掛分皿 1957年 鳥取民藝美術館蔵
5 竹ショルダーバッグ 1950年代前半 個人蔵 作品はすべて吉田璋也デザイン

The Designs of Yoshida Shoya
Imagining the Future with the New Mingei Movement

主催：茨城県陶芸美術館、NHK水戸放送局、NHKプロモーション

制作協力：NHKエンタープライズ中部 特別協力：鳥取民藝美術館 後援：笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、

産経新聞水戸支局、東京新聞つくば支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、LuckyFM茨城放送

休館日 | 毎週月曜日(ただし、5月4日は開館)、5月7日(木) 会場 | 茨城県陶芸美術館 地下1階企画展示室、2階県民ギャラリー

開館時間 | 9時30分～17時(入場は16時30分まで) 観覧料 | 一般950(770)円 70歳以上470(380)円 高校生等710(590)円

小中学生360(290)円 ()内は20名以上の団体料金。※土曜日は高校生以下無料(ただし長期休業日に当たるときを除く)。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳または指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方及び付き添いの方

(ただし、1人につき1人まで)は無料。 ※3月28日(土)、5月30日(土)は満70歳以上の方無料。

展示会の
詳細は
こちらから



茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地[笠間芸術の森公園内]

Tel. 0296-70-0011 Fax. 0296-70-0012

URL <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

吉田璋也のデザイン

— 新作民藝運動がめざした未来

吉田璋也(1898-1972)は医師でありながら、民藝のプロデューサーとして日常の暮らしに用いられる品を自らデザインし、生産・流通・販売の体制を確立し、民藝運動に生涯を捧げた人物です。本展では、吉田璋也が伝統的な手仕事を現代の生活に根付かせるためにデザインした「新作民藝」の軌跡を、関連する作品や資料を展示し、ご紹介します。

作品はすべて吉田璋也デザイン



腕時計掛け 1950年代頃 個人蔵



果物ナイフ(上) パン切りナイフ(下) パン切り台
1950年代前半 鳥取民藝美術館蔵



にぎりネクタイ 1931年 鳥取民藝美術館蔵



折畳スツール 1959年頃 鳥取民藝美術館蔵



緑釉筆立付水滴(丸形) 1950年頃 鳥取民藝美術館蔵



旧吉田医院(玄関正面階段)

◎関連行事

講演会「吉田璋也のものづくり」

予約優先・定員90名

鳥取民藝美術館の尾崎麻理子氏に、吉田璋也が「プロデュース」した作品の見どころについて、当時の資料類から吉田の仕事ぶりを紐解きつつご紹介いただきます。

講師 | 尾崎麻理子氏(鳥取民藝美術館 学芸顧問)

日時 | 3月14日(土)13時30分から15時00分まで

会場 | 当館1階多目的ホール

参加費 | 無料(要企画展観覧料)

予約はこちら
受付期間
2月1日(日)～
3月13日(金)



トークショー「手仕事を、いまの暮らしに届けるしごと」

予約優先・定員90名

現代の手仕事を扱うセレクトショップ「pejite」、古い家具等を次の持ち主へつなぐ「仁平古家具店」を営む仁平透氏に、手仕事との関わりや生活に取り入れるヒントなどを伺います。

話し手 | 仁平透氏(pejite・仁平古家具店 店主)

聞き手 | 芦刈歩(当館学芸員)

日時 | 5月23日(土)13時30分から15時00分まで

会場 | 当館1階多目的ホール

参加費 | 無料(要企画展観覧料)

予約はこちら
受付期間
2月1日(日)～
5月22日(金)



ワークショップ「春色パレット - 植物で染める布小物」

要予約/定員各回15名 ※抽選

茨城県内で採れる春の植物を使って布小物を染めます。染めるための植物(2種類)と染めるもの(ハンカチか巾着)はお選びいただけます。※お楽しみノベルティ付き

講師 | futashiba248(染色クリエイターユニット)

日時 | 4月11日(土)

[午前の部]10時00分から12時00分まで

[午後の部]14時00分から16時00分まで

会場 | 当館地下1階研修室

対象 | 小学生以上

参加費 | 3,000円(要企画展観覧料)

※お申込み多数の場合、抽選を行います。

※お申込みは1人1回まで。グループの場合最大3名まで。

※抽選の結果は3月26日(木)以降にお知らせいたします。

予約はこちら
受付期間
2月28日(土)～
3月22日(日)



イメージ
※実際の色とは
異なります

ギャラリートーク 予約不要

担当学芸員による展覧会案内

日時 | 5月9日(土)13時30分から

会場 | 当館地下1階企画展示室 参加費 | 無料(要企画展観覧料)

ケラモンのおはなしのへや(読み聞かせ) 予約不要

日時 | 6月6日(土) 13時30分から14時00分まで

会場 | 当館地下1階研修室 参加費 | 無料(要企画展観覧料)

つくば美術館土曜講座(担当学芸員による展覧会紹介)

日時 | 4月25日(土)13時30分から15時00分まで

会場 | 茨城県つくば美術館2階アルスホール(tel.029-856-3711)

※詳しくは茨城県つくば美術館ウェブサイトをご覧ください。

※諸事情により、予告なくイベント等を中止・延期する場合がございます。

変更の場合には、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

【次回当館企画展】

「ガレの陶芸II」(仮) 7月11日(土)～9月23日(水・祝)

【ごいっしょに】

茨城県近代美術館 tel.029-243-5111

「藤田嗣治 絵画と写真」 2月10日(火)～4月12日(日)

「富山県水墨美術館コレクション 水墨画を楽しむ7つのとびら」
一富岡鉄斎、竹内栖鳳、横山大観から加山又造へ

4月25日(土)～6月21日(日)

笠間日動美術館 tel.0296-72-2160

「渡邊榮一回顧展 - 少年王國譚 -」

2月21日(土)～4月12日(日)

「97歳セツの新聞ちぎり絵 原画展」

4月18日(土)～7月20日(月・祝)

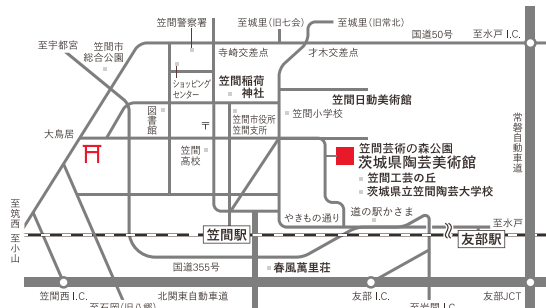
【交通案内】

電車 / JR常磐線で上野～友部駅(特急70分)→友部駅から周遊バス、もしくはJR水戸線で笠間駅からタクシー(5分)またはバス(茨城交通)

車 / 北関東自動車道、友部インターから10分、笠間西インターから15分、常磐自動車道、岩間インターから25分、水戸インターから30分

駐車場 / 笠間芸術の森公園北駐車場(300台)をご利用ください。

※陶炎祭(4月29日～5月5日)期間中は、駐車場が有料になります。



INSTAGRAM



詳しいアクセス情報は、
当館ウェブサイトをご
覧ください。

